

公益財団法人さいき農林公社
の経営状況を説明する書類

令和6年第4回
佐伯市議会定例会

(公財) さいき農林公社

令和6年3月31日現在

法人の概要

- (1) 名 称 公益財団法人 さいき農林公社
- (2) 目 的 中核的担い手農家の育成、農用地の有効利用、農林産物の加工販売、農林作業の受委託及び農林業の振興に直結した、地域振興施設の管理運営事業等を含めた地域活性化施策を幅広く実施し、農林業所得の増大と経営の安定を図り、ゆとりある地域、魅力ある社会を創造する。
- (3) 設立年月日 平成10年1月20日
- (4) 資本金 30,000千円（市出資等額：24,000千円、市出資等割合：80.0%）
- (5) 役員 理事 9人 監事 1人
理事長 山崎吉明
副理事長 阿南久米昭
理事 田原俊秀
" 宮脇保芳
" 矢野弥平
" 市川今朝男
" 佐藤誠
" 矢野勝彦
" 稗田辰朗
監事 小野雄司
- (6) 従業員 5人
- (7) 事務所 佐伯市宇目大字千束1060番地1

(公財) さいき農林公社
令和5年度事業運営状況報告書

1 農地利用集積円滑化事業

農地保全等の公益目的事業として実施する本事業では、主食用水稲（モチ含む）5.37ha、WCS用稲（稲発酵粗飼料）1.25ha を作付けしました。

主食用水稲の生育については、大分県内の作況指数は、大雨による日照不足の影響で「やや不良」の98と予想されていましたが、9月以降の好天で101の「平年並み」となり、南部では103の「良」となりました。

水稲の生育については、天候に恵まれ、病虫害も特になかったことから生育が順調に進み、収穫量は、昨年の636袋に対し799袋で、10a当たり収量は、昨年の5.9俵に対し7.6俵となり、JAにおける品質検査においても全量1等となりました。

《管理水田等実績》

作物名	作付面積	販売等	
ヒノヒカリ	5.21 ha	収穫量	799袋と8.8kg
		賃借料現物支払	137袋と25.0kg 賃借料30kg/10a
		JA出荷分	352袋 5,850円/30kg
		一般販売, 予約分	290袋と13.8kg 玄米8,500円 白米9,600円
		ふるさと納税返礼品用	19袋 白米4,200円/10kg
モチ(ハクトモチ)	0.16 ha	一般販売	20袋
WCS	1.25 ha	—	100 ロール
育苗ハウス	0.31 ha		
栗(水田活用)	4.22 ha	植栽(年度/面積)	H30/0.50ha R1/0.95ha R2/1.37ha R3/1.20ha R4/0.20ha
計	11.15 ha		

2 農作業受委託事業

農作業の受委託では、春作業として水稻作を主体に耕起、代かき、田植作業や無人航空機による病害虫防除、秋作業として刈取作業及び指定管理施設である佐伯市重岡ライスセンターにおいて乾燥・調製等の作業を行いました。

春作業の田植作業は、5月27日から始まり、6月14日に委託分の田植作業を終了、6月28日に公社管理田が全て終了しました。

無人航空機防除では、1回目の早期米の防除をグリーンテック（株）へ再委託し、2回目の防除を公社が散布を行いました。普通期米においては、7月21日から弥生地区、佐伯地域を再委託し、宇目地区、本匠地区、直川地区を公社が散布を行い、9月1日に全ての散布作業を終了しました。

なお、防除面積が減少傾向にありますが、これは、令和2年度に公社を核とする地域農業経営サポート機構が、ドローン免許取得等の支援を行ったことから、民間ドローンの参入が進んだことによるものです。

秋作業では、9月28日から刈取作業を開始し、10月19日に公社管理田を含む全ての刈取作業を終了しました。

《農作業受託実績》

作業項目	R5年度計画	実 績		戸数（戸）		前年対比
		R5年度	R4年度	R5年度	R4年度	
畦 塗	800.0 m	468.0 m	542.0 m	5 戸	5 戸	86.3 %
耕 起	15.0 ha	13.8 ha	13.7 ha	49 戸	51 戸	100.7 %
代 か き	20.0 ha	17.7 ha	17.2 ha	36 戸	34 戸	102.9 %
田 植	30.0 ha	27.7 ha	27.5 ha	78 戸	79 戸	100.7 %
防 除	300.0 ha	286.5 ha	306.3 ha	384 戸	505 戸	93.5 %
刈 取	23.0 ha	19.7 ha	20.4 ha	55 戸	63 戸	96.6 %
乾燥・調製	31.0 ha	26.8 ha	31.4 ha	68 戸	77 戸	85.4 %

《無人航空機防除の地区別実績》

地 区	実績				戸数		前年対比	備考
	前期	後期	R5年度	R4年度	R5年度	R4年度		
宇 目	39.7 ha	45.7 ha	85.4 ha	99.7 ha	119 戸	156 戸	85.7 %	
直 川	36.9 ha	45.9 ha	82.8 ha	85.2 ha	89 戸	155 戸	97.2 %	
本 匠	14.2 ha	15.5 ha	29.7 ha	29.3 ha	39 戸	39 戸	101.4 %	
佐 伯	- ha	- ha	- ha	4.2 ha	- 戸	14 戸	- %	
佐 伯	- ha	5.0 ha	5.0 ha	15.7 ha	11 戸	20 戸	31.8 %	早期米
弥 生	- ha	- ha	- ha	15.9 ha	- 戸	32 戸	- %	
公社計	90.8 ha	112.1 ha	202.9 ha	250.0 ha	258 戸	416 戸	81.2 %	
佐 伯	10.6 ha	- ha	10.6 ha	- ha	15 戸	- 戸	- %	早期米
佐 伯	23.8 ha	31.8 ha	55.6 ha	56.3 ha	82 戸	89 戸	98.8 %	
弥 生	8.5 ha	8.9 ha	17.4 ha	- ha	34 戸	- 戸	- %	
グリーン テック計	42.9 ha	40.7 ha	83.6 ha	56.3 ha	131 戸	89 戸	148.5 %	
合 計	133.7 ha	152.8 ha	286.5 ha	306.3 ha	389 戸	505 戸	93.5 %	

3 育苗事業及び重岡ライスセンター（指定管理施設）事業

育苗事業では、水稻作付農家への水稻苗の供給並びに杉露地苗の管理に取り組みました。

水稻苗については、計画箱数を減らしたこともあり、昨年より 1,500 箱ほど減っています。

杉苗の露地苗管理受託業務（仮伏せ、散水業務）については、今年度 100,000 本を当初に計画していましたが、森林組合と協議の上、200,000 本に変更し、実績として 191,750 本の委託業務を行いました。

なお、野菜苗は、年々、販売額が減少していることや資材の高騰、人件費等の問題から令和 5 年度から廃止しました。

《育苗実績》

種 類		R5 年度計画	R5 年度実績	R4 年度実績	前年対比
水稻苗	ヒノヒカリ	計	10,870 箱	12,437 箱	87.4 %
		販売分	9,700 箱 (163戸)	11,226 箱 (183戸)	86.4 %
		公社管理田分	1,170 箱	1,211 箱	96.6 %
	モチ	計	240 箱	224 箱	107.1 %
		販売分	210 箱 (19戸)	190 箱 (17戸)	110.5 %
		公社管理田分	30 箱	34 箱	88.2 %
計			11,110 箱	12,661 箱	87.7 %
杉苗	露地仮伏せ、散水作業	200,000 本 (100,000)	191,750 本	101,950 本	188.1 %

ライスセンターでの乾燥・調製では、68 戸が利用し、利用面積は 27.0ha となりました。前年と比べ持込戸数、面積、稼働率は低迷しており、利用者の拡大による稼働率の向上が大きな課題となっています。

また、施設の老朽化により毎年作業中に機械の故障が発生し、その都度緊急修繕を行いながら稼働している状況であり、機械の更新も検討する時期となっています。

《重岡ライスセンター利用実績》

作業項目	R5 年度計画	R5 年度実績	R4 年度実績	前年対比	備 考
持込戸数	85 戸	68 戸	80 戸	85.0 %	乾粃 9 戸
面 積	31.5 ha	27.0 ha	31.4 ha	86.0 %	
受入重量	220.0 t	174.1 t	213.3 t	81.6 %	乾粃 23.1 t
粃摺重量	132.0 t	118.0 t	129.2 t	91.3 %	
粃摺袋数	4,400 袋	3,933 袋	4,306 袋	91.3 %	

4 地域農業経営サポート機構事業

今年度から日本直接支払交付金における、多面的機能支払交付金事務代行（広域化）（7組織）での運用を始めました。

また、水稲防除の再委託として、連携員に1地区のドローン防除を依頼し実施しています。

《事業実績》

- ・水稲防除再委託（ドローン） 1件 ¥513,907 - (1,392.7a)

5 栗生産・販売事業

栗生産・販売事業については、イノシシによる被害があり、対策として柵の修繕を行い管理に努めました。収穫量については、猛暑が原因で早生が非常に少なく、収穫計画を下回りました。

なお、プレイベント開催に向けて、9月に宇目児童クラブを対象に栗拾い体験会を実施しました。児童にはとても喜ばれ、良い体験をさせることができました。

《収穫計画・収穫実績》

地 区	令和5年度 収穫計画	収穫実績	
		令和5年度	令和4年度
酒 利	1,000.0 kg	533.1 kg	238.7 kg
塩 見		69.8 kg	84.3 kg
重 岡		56.4 kg	43.0 kg
合 計	1,000.0 kg	659.3 kg	366.0 kg

《販売実績》

販 売 先	販売数量	単価（1kg）	売上金額
ふるさと納税返礼品	261.0 kg	1,000 円	261,000 円
ひよこの会	52.7 kg	680 円	35,836 円
	4.7 kg	200 円	940 円
(有)きらり 加工所 匠	54.0 kg	680 円	36,720 円
	16.2 kg	200 円	3,240 円
栗の実工房	53.9 kg	680 円	36,652 円
	27.0 kg	200 円	5,400 円
九州産業大学	5.0 kg	680 円	3,400 円
直売所	57.0 kg	円	65,900 円
コミュニティ協議会（宇目郷GO）	35.5 kg	円	17,700 円
個人販売	19.0 kg	円	19,060 円
廃棄分	73.3 kg	円	- 円
合 計	659.3 kg		485,848 円

6 その他の事業

- ・柳瀬チューリップ圃場畝崩し作業（宇目振興局地域振興課）
- ・柳瀬チューリップ植付け準備作業（宇目振興局地域振興課）

貸借対照表

令和 6年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	11,981,504	3,544,411	8,437,093
未収金	2,484,095	1,116,466	1,367,629
たな卸資産	1,831,590	1,954,330	△ 122,740
前払費用	485,536	510,400	△ 24,864
流動資産合計	16,782,725	7,125,607	9,657,118
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金(基)	30,000,000	30,000,000	0
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(2)特定資産			
什器備品(特)	23,447,505	28,585,431	△ 5,137,926
特定資産合計	23,447,505	28,585,431	△ 5,137,926
(3)その他固定資産			
車両運搬具	1	41,990	△ 41,989
什器備品	2,100,228	244,640	1,855,588
リース資産	0	54,432	△ 54,432
保証金	22,425	22,425	0
出資金	10,000	10,000	0
その他固定資産合計	2,132,654	373,487	1,759,167
固定資産合計	55,580,159	58,958,918	△ 3,378,759
資産合計	72,362,884	66,084,525	6,278,359
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	4,776,050	0	4,776,050
未払費用	1,434,387	549,766	884,621
預り金	94,228	55,041	39,187
短期借入金	21,000,000	21,000,000	0
賞与引当金	777,106	626,467	150,639
流動負債合計	28,081,771	22,231,274	5,850,497
2. 固定負債			
長期借入金	0	84,000	△ 84,000
長期未払金	0	386,932	△ 386,932
固定負債合計	0	470,932	△ 470,932
負債合計	28,081,771	22,702,206	5,379,565
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	531,825	531,825	0
地方公共団体補助金	22,873,580	27,989,282	△ 5,115,702
寄付金	30,000,000	30,000,000	0
指定正味財産合計	53,405,405	58,521,107	△ 5,115,702
(うち基本財産への充当額)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(23,405,405)	(28,521,107)	(△ 5,115,702)
2. 一般正味財産	△ 9,124,292	△ 15,138,788	6,014,496
(うち特定資産への充当額)	(42,100)	(64,324)	(△ 22,224)
正味財産合計	44,281,113	43,382,319	898,794
負債及び正味財産合計	72,362,884	66,084,525	6,278,359

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日 から令和 6年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	601	600	1
事業収益			
農地利用円滑化事業	7,041,494	5,890,787	1,150,707
農作業受託事業	23,543,042	22,923,340	619,702
ライスセンター事業	4,658,823	5,174,119	△ 515,296
育苗事業	13,620,150	12,946,825	673,325
栗生産・販売事業	8,213,029	797,482	7,415,547
その他販売事業	5,080,448	4,611,116	469,332
農業経営サポート機構事業	280,162	0	280,162
事業収益計	62,437,148	52,343,669	10,093,479
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	9,368,950	9,396,840	△ 27,890
受取補助金等振替額	5,115,702	2,703,703	2,411,999
受取補助金等計	14,484,652	12,100,543	2,384,109
雑収益			
雑収益	89,874	121,958	△ 32,084
経常収益計	77,012,275	64,566,770	12,445,505
(2) 経常費用			
事業費			
期首たな卸高	1,954,330	2,157,475	△ 203,145
期末たな卸高	△ 1,831,590	△ 1,954,330	122,740
給料手当	11,713,499	12,431,000	△ 717,501
法定福利費	2,869,898	3,571,688	△ 701,790
通信運搬費	252,883	231,384	21,499
減価償却費	5,102,587	3,745,995	1,356,592
印刷製本費	177,733	141,069	36,664
光熱水料費	133,052	190,977	△ 57,925
賃借料	520,650	530,730	△ 10,080
諸謝金	225,720	225,720	0
租税公課	1,681,200	1,780,740	△ 99,540
地域農経営サポート事業費	513,907	0	513,907
農地利用円滑化費	10,519,028	9,774,332	744,696
農作業費	14,092,877	14,152,290	△ 59,413
ライスセンター費	3,170,851	3,093,374	77,477
育苗費	9,498,506	9,028,368	470,138
産品販売費	0	208,346	△ 208,346
その他販売費	4,284,366	3,257,369	1,026,997
栗生産・販売費	1,876,561	1,511,660	364,901
事業費計	66,756,058	64,078,187	2,677,871
管理費			
職員給与	1,061,630	1,125,510	△ 63,880
職員手当	239,870	255,712	△ 15,842
法定福利費	318,878	396,854	△ 77,976
福利厚生費	74,672	106,239	△ 31,567
会議費	156,193	133,903	22,290
旅費交通費	36,140	42,080	△ 5,940
通信運搬費	28,098	25,709	2,389
減価償却費	54,432	54,432	0
備品費	17,841	0	17,841
消耗品費	126,770	120,577	6,193
修繕費	0	260,590	△ 260,590
印刷製本費	19,748	15,674	4,074
燃料費	33,620	73,418	△ 39,798

光熱水料費	14,784	21,220	△ 6,436
賃借料	57,850	58,970	△ 1,120
保険料	279,050	286,430	△ 7,380
委託料	25,080	25,080	0
租税公課	186,800	197,860	△ 11,060
支払負担金	3,000	3,000	0
研修費	7,180	4,500	2,680
手数料	41,960	44,390	△ 2,430
支払利息	105,129	105,129	0
雑費	48,150	74,390	△ 26,240
管理費計	2,936,875	3,431,667	△ 494,792
経常費用計	69,692,933	67,509,854	2,183,079
評価損益等調整前当期経常増減額	7,319,342	△ 2,943,084	10,262,426
当期経常増減額	7,319,342	△ 2,943,084	10,262,426
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
災害損失			
固定資産除却損	456,740	65,554	391,186
その他の経常外費用			
賞与引当金繰入額	777,106	626,467	150,639
経常外費用計	1,233,846	65,554	1,168,292
当期経常外増減額	△ 1,233,846	△ 65,554	△ 1,168,292
税引前当期一般正味財産増減額	6,085,496	△ 3,635,105	9,720,601
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0
当期一般正味財産増減額	6,014,496	△ 3,706,105	9,720,601
一般正味財産期首残高	△ 15,138,788	△ 11,432,683	△ 3,706,105
一般正味財産期末残高	△ 9,124,292	△ 15,138,788	6,014,496
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	0	25,002,027	△ 25,002,027
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 5,115,702	△ 2,703,703	△ 2,411,999
当期指定正味財産増減額	△ 5,115,702	22,298,324	△ 27,414,026
指定正味財産期首残高	58,521,107	36,222,783	22,298,324
指定正味財産期末残高	53,405,405	58,521,107	△ 5,115,702
III 正味財産期末残高	44,281,113	43,382,319	898,794

財 産 目 録
令和 6 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	事務所	公1、収1、収2、法人会計の共通財産 運転資金として	158,974		
	普通預金	大分県農協宇目支店 0003212	公1、収1、収2、法人会計の共通財産 運転資金として	11,822,530		
		大分県農協宇目支店 0025330	収2 運転資金として	0		
		ほか12口		0		
	未収金	大分銀行	公1 に関する未収金	2,484,095		
	たな卸資産	作業未収金ほか	収1 に関する在庫	1,831,590		
	前払費用	水稲関係諸経費・麦関係諸経費・分割手数料	公1 に関する前払費用	485,536		
立替金	直売所宅配分	収1 に関する立替金	0			
流動資産合計				16,782,725		
(固定資産)						
基本財産	定期預金 (基)	大分県農協宇目支店	法人の運転資金の財源とするために保有運用益を管理費の財源として使用	30,000,000		
特定資産	什器備品 (特)	産業用無人ヘリ	公1:公益目的事業に使用	531,825		
		農機具格納庫	公1:公益目的事業に使用	184,800		
		水稲箱苗播種機 クボタ	公1:公益目的事業に使用	28,770		
		自脱型コンバイン クボタ72馬力	公1:公益目的事業に使用	341,250		
		プレハブ式冷蔵庫 ホシザキ南九州	収2:収益事業に使用	40,373		
		乗用トラクター クボタ51馬力	公1:公益目的事業に使用	183,960		
		ロータリー(W200)	公1:公益目的事業に使用	35,910		
		代掻き機 オートハロー	公1:公益目的事業に使用	42,053		
		畦塗り機 小橋工業 オートタイプ	公1:公益目的事業に使用	55,703		
		乗用田植機	公1:公益目的事業に使用	1		
		軽トラック	公1:公益目的事業に使用	1		
		水稲箱苗播種機	公1:公益目的事業に使用	391,966		
		コンバイン	公1:公益目的事業に使用	1,375,917		
		スマート農業推進事業 トローン	公1:公益目的事業に使用	5,635,388		
		スマート農業推進事業 コンバイン	公1:公益目的事業に使用	4,406,820		
		スマート農業推進事業 トラクター	公1:公益目的事業に使用	3,965,248		
		スマート農業推進事業 水管理システム	公1:公益目的事業に使用	196,305		
		スマート農業推進事業 機械運搬用台車	公1:公益目的事業に使用	6,031,215		
		その他固定資産	車両運搬具	エヴリ 大分480せ7165	収2:収益事業に使用	1
		什器備品	大豆中耕倍土用管理機		公1:公益目的事業に使用	1
水稲苗灌水設備			公1:公益目的事業に使用	1		
大豆脱穀機一式			公1:公益目的事業に使用	1		
播種機			公1:公益目的事業に使用	1		
コンバイン			公1:公益目的事業に使用	1		
空中散布作業マルチローター			公1:公益目的事業に使用	1,685,228		
水稲箱苗並べ機			公1:公益目的事業に使用	414,995		
リース資産	産業用無人ヘリ		公1:公益目的事業に使用	0		
	直売所用パソコン		収2:収益事業に使用	0		
	公社事務所ノートパソコン		法人会計で使用	0		
保証金	リサイクル預託金		収2:法人会計で使用	22,425		
出資金	大分県農協		法人会計で使用	10,000		
固定資産合計				55,580,159		
資産合計				72,362,884		
(流動負債)						
未払金	未払金	R5年度 公社運営補助金返還金	公1、収1、収2、法人会計に係る未払金	4,776,050		
	未払費用	3月分賃金ほか	公1、収1、収2、法人会計に係る未払金	1,434,387		
	預り金	源泉所得税	公1、収1、収2、法人会計に係る預かり金	94,228		
	短期借入金	大分県農協宇目支店	公1、収1、収2、法人会計の共通財産 運転資金として	21,000,000		
	賞与引当金		公1、収1、収2、法人会計に係る引当金	777,106		
流動負債合計				28,081,771		
(固定負債)						
固定負債合計				0		
負債合計				28,081,771		
正味財産				44,281,113		

監査報告書

定款第7条1項の規定により、監査を実施したのでその結果について報告致します。

1. 監査の日時 令和6年5月10日（金）
午前9時30分～
2. 監査実施場所 宇目振興局 2階 第1会議室
3. 監査の対象 令和5年度事業報告書並びに収支計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書等決算に関する財務諸表及び附表、諸帳票、証憑書類及び理事の業務執行状況について

[監査報告]

令和6年5月10日、公益財団法人さいき農林公社の令和5年度における事業経過報告書、収支計算書、貸借対照表等決算書類、並びに理事の業務の執行状況に関する書類等について慎重に監査を実施したので、その結果を次のとおり報告致します。

「会計監査においては、会計諸帳票、及び証憑書類等について、閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確さを検証した。また、業務監査については、理事会等に出席のうえ業務の執行状況等の報告を聴取し、理事の業務執行に関係する必要と思われる事項の監査を行い、業務執行の妥当性を検討した。」

以上の項目について監査した結果、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく表示していると認めます。

また、事業報告書の内容は真実であると認めるとともに理事の職務執行に関する行為についても定款の規定に照らし何ら違反する事項は無く、業務執行状況は適正であると認めます。

なお、付帯意見として、市にお願いです。

本農林公社については、営利を目的とする団体ではないことはご承知のとおりであり、市の支援なくして運営を継続することが極めて困難であります。

今回は、市の運営補助金として職員の人件費を支援していますが、経費の2分の1以内であり、しかも必要な労働力であるパート従業員は対象外となっています。今後は、運営や事業推進に係る全ての人件費と経費を含めた、いわゆる指定管理業務の委託料的な支援が必要です。


別紙の第2次佐伯市総合計画の農業の振興の項目に、本農林公社が重要な団体として位置付けられており、施策遂行のための重責を担う市の団体であると認識しています。

過疎化・高齢化が進む中山間地域の農業を守り続けるため、さらには地域を衰退させないためにも、市の責務として本農林公社に対する絶大なる支援をお願いする次第であります。

以上

令和6年5月10日

公益財団法人 さいき農林公社

監 査 人 小 崎 雄 司 

5 地域資源をいかした産業と観光の創生 [産業振興]

(1) 農業の振興

〈水田農業の振興〉

■ 現状と課題

水田面積は、1,380haで耕地面積の73.4%に当たります。水稻の作付けについては、農業従事者の高齢化・担い手の減少による耕作放棄地の増大、米の価格低迷等により主食用米の作付けが減少しています。

こうした中、農業法人や大規模経営体を中心に水田の高度利用としての麦生産や、転作作物として新規需要米（飼料用米・WCS*用稲等）の作付けが拡大・定着しています。また、水田畑地化において、枝豆などの畑作物の生産も進みつつあります。今後においては、農業協同組合や大分県等と連携して、地産地消を目指し、引き続き売れる米づくりに力を入れるとともに、麦・大豆などの需要に応じた土地利用型作物の更なる生産拡大や、収益性の高い畑作物への着実な転換を図ることが課題です。

また、高齢化・担い手不足対策としては、農業法人や認定農業者、主要な水田農業者で組織する「佐伯地域農業経営サポート機構」などの中心的担い手に加え、中小規模や「半農半X*」を含む多様な担い手への農地集積・集約化、畦畔*除去による区画拡大、スマート農業による省力・効率化の推進による生産性の向上が課題です。特に中山間地域の担い手育成が遅れており、今後も中山間地域を始め担い手が不在となる集落が増加すると予想されます。過疎・高齢化が進行する現状では、生産者個々による営農や鳥獣害対策などへの対応が困難な状況にあることから、最終的な農地管理の受委託を行う公益財団法人さいき農林公社や有限会社きらりの組織強化とともに、農地の保全管理や農村集落の維持発展を目指す農村型地域運営組織*の推進など、担い手や地域の情報共有や連携を図る体制の充実が必要となります。

■ これからの基本方針

- ア 水田農業の中心的担い手の確保・育成として、スマート農業とネットワーク強化を推進します。
- イ 米の品質と生産意欲の向上により、佐伯米の消費拡大を目指します。
- ウ 麦・大豆・新規需要米等の転作作物の生産拡大に取り組みます。
- エ 農業農村整備事業を継続して実施し、農業・農村のインフラ整備を行うことで、農業経営の効率化を図ります。

■ 主な取組

- ア 担い手の確保・育成の取組
 - (ア) 地域での話し合いによる実効性のある地域計画*の策定を進める
 - (イ) 担い手や集落営農組織間の連携強化による集落支援
 - (ウ) 農地中間管理機構*を活用した農地集積の実施
 - (エ) 担い手不足や集落営農が困難な地域において、最終的に農作業の受委託を行う公益財団法人さいき農林公社、有限会社きらりの組織強化
- イ 佐伯米消費拡大の取組
 - 売れる米づくりの推進（食味分析計などを活用した見える評価と実食評価）
- ウ 転作作物の生産拡大の取組
 - (ア) 主食用米以外の米として飼料用米、WCS*用稲などの新規需要米の生産拡大



(公財) さいき農林公社

令和6年度事業計画書

(公財) さいき農林公社は、地域農業の振興と農村の活性化に欠かすことのできないサービスと事業を継続して安定的に提供するため、経営の効率化を図り自律的経営を目指すため、令和2年3月に策定した経営改革プランを踏まえ、以下の事業に取り組みます。

1 農地利用集積円滑化事業

利用権設定をしている管理田での主食用水稻（ヒノヒカリ及びモチ米）の作付け、WCS用稲（稲発酵粗飼料）の作付けを行います。WCS用稲（稲発酵粗飼料）においては、現在の契約農家は十分な飼料が足りているとのことで、作付面積の拡大が困難であることから、本年度も約1haの作付けを行います。

(管理水田等計画)

作物名	作付面積等
水稻	5.380 ha (ヒノヒカリ 5.213ha モチ 0.167ha)
	※生産目標 生粳 37,961kg 袋数 760袋 反収7俵
WCS	1.251 ha
育苗ハウス	0.311 ha
栗(水田活用)	4.220 ha
計	11.162 ha

2 農作業受委託事業

農家の高齢化や担い手不足、米の消費量の減少等により耕作放棄地が増える中、水稻作付けも減少傾向にあり、米単価の安値傾向等で水稻作付け農家には厳しい状況が続いています。

このような現状ではありますが、農作業受託を推進し、高齢農家や担い手不足、農家の機械更新等、投資の抑制とライスセンター利用による農家の負担軽減により農地保全に努めます。

水稻防除においても散布面積が減少していますが、再委託をしていた早期米防除、普通期米における佐伯地域、弥生地区を公社で散布を行います。

適期防除、周知の徹底、作業前の声掛け等を必ず行い、安全かつ効率的な作業に取り組みます。

(農作業受託計画)

作業種別	R6年度計画	R5年度実績	R5年度計画	備考
畦塗作業	500.0 m	468.0 m	800.0 m	
耕起作業	15.0 ha	13.8 ha	15.0 ha	春作業、寒起し
代かき作業	20.0 ha	17.7 ha	20.0 ha	荒、植代
田植作業	30.0 ha	27.7 ha	30.0 ha	側条施肥
防除作業	300.0 ha	286.5 ha	300.0 ha	無人航空機防除(延べ面積)
刈取作業	23.0 ha	19.7 ha	23.0 ha	刈取、粳運搬
乾燥・調製作業	31.0 ha	26.8 ha	31.0 ha	乾燥、粳摺り(ライスセンター)

3 育苗事業及び重岡ライスセンター（指定管理施設）事業

【育苗事業】

水稻苗、杉露地苗の管理に取り組みます。

水稻苗につきましては、高齢化に伴い人員確保が困難な中、農家の方々にご協力をお願いしながら、取り組みます。生産枚数は、公社管理田を含め 12,000 箱ほどとします。

杉苗につきましては、露地苗畑の管理を森林組合から受託作業として行いますが、ポット苗の需要が増えていることから、仮伏の本数が減少しています。そのような状況ではありますが、森林組合と協議しながら行っています。

（育苗管理、販売計画）

・ 水稻苗12,000箱（水稻作付農家10,000箱、公社管理田2,000箱）	（R5計画 10,000箱）
・ 杉苗露地管理 宇目地区、直川地区18万本	（R5計画 宇目地区8万本、直川地区10万本 計18万本）

【重岡ライスセンター事業】（指定管理施設）

ライスセンターにおいては、農家の高齢化、耕作放棄地の増加や飼料用米、WCS用稲といった新規需要米への転換等で平成22年度を境に利用率が減少しています。

そのため、育苗から田植、刈取りも含めた受託の推進と合わせて、生籾や乾籾の運搬等労力の必要な作業を公社で行い、適正な水分で仕上げができるライスセンター利用をPRしていくことで、中核農家との連携も図りながら利用率向上に取り組みます。

（利用計画）

	R6年度計画	R5年度実績	R5年度計画	備 考
利用戸数	85 戸	68 戸	85 戸	乾籾含む
利用面積	31.5 ha	27.0 ha	31.5 ha	籾摺のみ含む
稼働率	35.0 %	30.0 %	35.0 %	最大受入90ha
受入重量	220.0 t	174.1 t	220.0 t	生、乾籾
籾摺重量	132.0 t	118.0 t	132.0 t	
籾摺袋数	4,400 袋	3,933 袋	4,400 袋	

4 地域農業経営サポート機構事業

令和6年度においても、佐伯市の農地の維持、担い手不在集落の解消や就農支援等、引き続き地域農業の総合的なサポートに取り組めます。

また、日本型直接支払交付金事業における、多面的機能支払交付金事務代行（広域化）につきましては、令和5年度から7組織での運用が始まり、令和6年度においても参加組織があれば受け入れる予定です。

中山間直接支払交付金事務代行につきましても、佐伯市が広域化を推進するなかで、市、関係組織と連携を図り、広域化へ向け取り組んでいきます。

(取組計画)

- ・集落支援 各作業受託、多面的機能交付金事務代行（広域化）
- ・担い手支援 農作業や農地の斡旋、連携員との連携

5 栗生産・販売事業

令和4年度に上仲江地区に約0.2ha 植え付けたことで、植栽面積の合計は約4.2ha となり、目標の6ha に達していませんが、これまで植栽した圃場管理が煩雑になっていることから植栽済の圃場管理の徹底に努めます。

販売については、ひよこの会、栗の実工房等へ販売や直売所への出荷、ふるさと納税における返礼品を計画しています。その他、一般への小売も行います。

観光栗園について、令和6年度の開園を検討してきましたが、開園に必要な収量が見込めないため、令和7年度以降の開園へ向け取り組んでいきます。

(収穫・販売計画)

収穫計画

地 区	R 6 年度計画	R 5 年度実績	R 5 年度計画
酒 利	1,200.0 kg	533.1 kg	522.0 kg
塩 見	400.0 kg	69.8 kg	404.0 kg
重 岡	100.0 kg	56.4 kg	144.0 kg
計	1,700.0 kg	659.3 kg	1,070.0 kg

販売計画

販売先	ひよこの会	@680 円/kg
	栗の実工房	@680 円/kg
	(有)きらり 加工所 匠	@680 円/kg
	直 売 所	@800 円/kg
	ふるさと納税返礼品	@1,000 円/kg

6 その他販売事業

農地利用集積円滑化事業において、生産した玄米を公社直営（一般販売、予約販売）及び宇目農林産物等直売所等で販売します。

玄米においては、JAにおける米単価が低迷しているため、JA出荷はなるべく控え、公社直営での販売を行うことで収益の向上を図ります。

（販売計画）

玄米 630 袋 一般販売、予約販売、直売所、ふるさと納税返礼品等

玄米単価 30 kg 8,500 円

白米単価 27 kg 9,600 円

7 その他事業

- ・チューリップ圃場植付け準備及び畝崩し業務

収支予算書

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(単位 円)

勘定科目名	R5年度予算(A)	R6年度予算(B)	差 額 (B)-(A)	摘 要
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	3,000	600	△ 2,400	
基本財産利息収入	3,000	600	△ 2,400	基本金定期利息
事業収入	50,525,320	59,445,000	8,919,680	
補助金等収入	14,145,000	15,000,000	855,000	
地方公共団体補助金収入	14,145,000	15,000,000	855,000	運営補助金等
雑収入	50,000	76,000	26,000	
雑収入	50,000	76,000	26,000	コピー代他
事業活動収入計	64,723,320	74,521,600	9,798,280	
2. 事業活動支出				
事業費支出	59,659,972	68,188,452	8,528,480	各事業経費合計
管理費支出	4,214,103	4,811,740	597,637	
職員給与支出	1,561,440	1,874,640	313,200	事務局職員9名
職員手当支出	406,360	584,650	178,290	// 期末手当
法定福利費支出	321,303	485,450	164,147	社保、厚年、雇保他
福利厚生費支出	50,000	30,000	△ 20,000	福利厚生費
会議費支出	150,000	150,000	0	理事会等
旅費交通費支出	40,000	40,000	0	車賃等
通信運搬費支出	25,000	25,000	0	電話、切手代等
備品費支出	50,000	50,000	0	備品購入代
消耗品費支出	130,000	150,000	20,000	コピー用紙、事務用品
修繕費支出	300,000	300,000	0	車検費用他
印刷製本費支出	15,000	17,000	2,000	コピー機使用料等
燃料費支出	150,000	100,000	△ 50,000	ガソリン代他
光熱水料費支出	30,000	20,000	△ 10,000	電気、水道料他
賃借料支出	60,000	60,000	0	事務所代、他
保険料支出	300,000	300,000	0	車両保険他
委託料支出	25,000	25,000	0	顧問税理士委託料
租税公課支出	300,000	300,000	0	印紙、消費税他
負担金支出	50,000	50,000	0	各種会費
研修費支出	50,000	50,000	0	各種研修参加費等
手数料支出	50,000	50,000	0	車検手数料等
支払利息支出	100,000	100,000	0	短期借入金利息
雑支出	50,000	50,000	0	その他経費
その他の支出	71,000	71,000	0	
法人税、住民税及び事業税	71,000	71,000	0	法人税
運営補助金返金支出	0	0	0	補助金返金
事業活動支出計	63,945,075	73,071,192	9,126,117	
事業活動収支差額	778,245	1,450,408	672,163	
II 投資活動収支の部			0	
1. 投資活動収入			0	
その他の収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
2. 投資活動支出			0	
特定資産取得支出	0	0	0	
什器備品取得支出	0	0	0	
固定資産取得支出	0	0	0	
什器備品購入支出	0	0	0	

